

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	高原鉄道小海線で感じよう！沿線地域の素敵なもの事業
事業主体 (連絡先)	小海線沿線地域活性化協議会 (川上村企画課政策調整係 由井泉子 TEL:0267-97-2121)
事業区分	(6)ア 特色ある観光地づくり (1) 地域協働の推進に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	2,282,800円 (うち支援金:1,809,000円)

事業内容

1. テレビを活用したイベント等の広報

実施日:6月25日、6月28日

放送局:BS-TBS・SBC

内容:絶景・名湯・高原の宿「夏の信州おとな旅」野辺山高原の星空やそれを気軽に楽しめる観光施設、佐久市の「酒蔵とスイーツ」といった信州DCにおける取組などを取り上げた。中央線からの接続で比較的気軽に足を運べる野辺山高原、新幹線で北陸や首都圏からもアクセス良好な佐久市を取り上げ、JR小海線炉活用して行くことができる観光スポットを紹介した。



【テレビ放送】

2. イベント列車

実施日:9月28日

内容:HIGH RAIL 1375を活用したイベント列車の運行。小海線沿線地域特別応援大使である関根梓さんを起用し、列車内での地域の紹介や駅から行ける観光施設等の散策、関根梓さんのミニライブ、特産品の抽選会などを行い小海線と沿線地域のPRを行った。合わせて沿線地域の住民にご協力いただき手を振ろう運動を実施、沿線地域に対するよいイメージ付けができた。



【イベント列車】

3. 小海線看板の製作

設置日:2月22日

設置数:1基

場所:JR佐久平駅 小海線連絡通路

内容:小海線沿線地域の地理がよくわかる路線図入りの看板を製作した。観光資源は名称を表示するとどめ、より詳細な情報収集ができるよう平成28年開設した小海線ファンサイトへ誘導するためのQRコードを付した。インターネットを利用しない観光客向けに効果的なPRができるようパンフレットホルダーを取りつけ活用している。



【看板製作】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

①HIGH RAIL 1375 という新しい観光資源を活用することにより多くの人の注目を集めることができ、小海線の認知度が向上した。看板の設置も単なる観光スポットの紹介だけでなく小海線沿線地域の地理が分かる表示物として、より深く沿線地域を知ってもらうことができた。

②全国放送のテレビを活用した情報発信により、不特定多数の人に小海線及び沿線地域の魅力を発信することができた。

③応援大使を起用したイベントは、これまで小海線を知らなかった特に若年層へアプローチし実際に足を運んでもらうことで、地域を知ってもらい新たな観光客の獲得につなげることができた。

【目標・ねらい】

- ①小海線の認知度向上
- ②県内外に向けた魅力の発信
- ③沿線地域の観光誘客

※自己評価【 B 】

【理由】

当初計画していた事業が一部変更となり回数が減ってしまったが、概ね予定していた効果は得られた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

HIGH RAIL 1375 を観光資源として活用し多くの人の注目を集めることができたことから、今後は移動手段としての小海線から観光コンテンツのひとつとして捉えた事業を進める他、沿線地域をより具体的に知ってもらい、足を向けやすくする手段を検討していきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある